



# 健年タイムズ

発行: 髯 健康と年金出版社  
 住所: 〒231-0015  
 神奈川県横浜市中区尾上町1-6-8F  
 TEL: 045-664-4677  
 FAX: 045-664-4680  
<https://www.ken-nen.co.jp/>

## 協会けんぽ神奈川支部

# 健康づくり推進協議会 Zoomと対面で開催

全国健康保険協会神奈川支部(吉原 利夫支部長)では8月22日、「健康づくり推進協議会」を同支部会議室にて開催しました。前回(本年2月14日)と同様に今回も、感染予防を徹底した中で、Zoomによるオンラインでの参加を基本としつつ、対面での参加も可能な方法を採用した開催になりました。出席委員の内訳は、Zoomが4名、対面が3名の計7名の参加で、活発な意見交換がなされました。ここでは「議題1 令和3年度 保健事業の実績および令和4年度の取り組みについて」「議題2 神奈川支部医療費分析について」に対する意見及び質問と、協会けんぽからの回答を掲載させていただきます。(健康と年金出版社代表取締役 菊地 均) 均健康づくり推進協議会発足以来、委員を委嘱されております。

**菊地委員** 健診の推進施策として資料に挙げられている「被保険者を対象とした集団健診の広報支援」について、令和3年度は20万人を対象に実施したとあるが、令和4年度は何人を対象に実施する予定なのか。

また、健診の実施率を向上させるためには、小規模事業所対策が重要と考えていたが、比較規模の大きい事業所が中心の



▶対面・Zoomに対応した同支部の会議室

「健康宣言事業所」の健診実施率が全国最下位となっている。「健康宣言事業所」の健診実施率向上に向けてどのような取り組みを進めていくのか。

**事務局** 「被保険者を対象とした集団健診の広報支援」については、令和4年度も20万人程度を対象とする予定としている。

神奈川支部に限らず首都圏の支部は、健康宣言事業所の健診実施率が低い。神奈川支部では、健康宣言事業所の健診実施率を高めるため、今年度から「健康優良企業」の認定基準を見直し、健診実施率80%以上の達成を「健康優良企業」認定の必須条件とした。

また、健康宣言事業所の健診実施率の向上を目指す、健診実施率が低い健康宣言事業所を対象とした外部委託による受診勧奨を行っている。

**菊地委員** 健康宣言事業

と契約している。実施率向上に向けて、令和3年度の実績が低調だった15機関に対して実施率の改善を働きかけている。

また、引き続き、生活習慣病予防健診当日の初回面談ができる機関を増やしていきたい。

**B委員** 特定保健指導の契約健診機関を53からいかに増やすかが課題である。また、特定保健指導の実績が低調な15の健診機関の実績の底上げをすることが必要である。

**議長** 被扶養者の特定保健指導は、令和3年度の実施率が令和2年度から約5%ポイント低下しているが、どのように改善していくのか。

**事務局** 今年度も被扶養者を対象とした「健診機関主催の集団健診の広報支援」などの健診受診勧奨を実施していくが、これらの健診受診勧奨の中で特定保健指導の利用をあわせて勧奨することなどによって実施件数の増加を図りたい。

**A委員** 被扶養者の健診実施率が伸びていない。健診実施率を改善するためには、集団健診を実施している健診機関と神奈川支部との間で意見交換を行い、問題点や改善すべき点について議論する必要があるのではないかと。

**事務局** 健診機関から何が問題点となっているのかを聴取するなど健診機関との連携強化によりPDC Aサイクルを回し、集団健診の実績向上を目指したい。

**議長** 工業団地、商店街など地域的な組織、業界団体などにもアプローチしてはどうか。

**C委員** 小規模な事業所では集団で健診を受診するのではな

く、従業員が個別に健診機関に行って受診するケースが多いのではないかと。

健診機関からの受診勧奨により生活習慣病予防健診を受診するケースが多いので、健診機関がより積極的な受診勧奨を行えば実施件数は増加すると思う。

**A委員** 中小零細企業は、商工会議所や法人会で健診を受診しているところが多いと認識している。調査を行って、例えばトラック協会など関係団体を特定していくことが肝要なのではないかと。

**議長** ターゲットを絞って関係団体とコラボし、効果検証を行いながらコラボの範囲を拡大していくのはどうか。

**D委員** コラボヘルスの推進施策として挙げられている「健康づくりDVDの無料貸し出し」はどのような経緯で始めたのか。

また、医療費分析を踏まえた取り組みとして挙げられている「女性を対象とした健康づくりの強化」に関して、神奈川県でも神奈川の女性の健康寿命が全国的に見て悪いことから、女性に特化した健康づくりが重要だと認識している。今年度の主な取り組みとして挙げられている「女性のヘルスリテラシーの向上」とは、具体的にどのような内容なのか。

**事務局** 「健康づくりDVDの無料貸し出し」について、令和3年度までは、当支部の保健師・管理栄養士や外部委託先が対象事業所を訪問し、健康づくりのサポートを行ってきたが、日程がうまく調整できず、実施回数が伸びなかったため、他支

部での取り組みを参考に、基本的に日程調整が不要な「健康づくりDVDの無料貸し出し」を開始した。

また、「女性のヘルスリテラシーの向上」については、現在、具体的な施策を検討中であるが、例えば、神奈川支部では女性の「呼吸器系の疾患」の加入者1人当たり医療費が高いこと、女性被保険者の「喫煙者の割合」が高いことに着目した、「禁煙」の広報などが考えられる。

**菊地委員** 新型コロナウイルス感染症の拡大により、協会けんぽの医療費はどのくらいの影響を受けているのか。

また、ジェネリック医薬品が品薄になっている影響はどの程度なのか。

**事務局** 令和3年度の神奈川支部の新型コロナウイルス感染症にかかると「加入者1人当たり医療費(年齢調整前)」は速報ベースで約5000円であり、全国平均が約8000円上回っている。

ジェネリック医薬品については、日本ジェネリック製薬協会加盟の製薬会社における供給調整品目数は現状約2400であるが、年初時点の約2600からほとんど改善していない。このような環境の中、神奈川支部のジェネリック医薬品の使用割合は目標の80%をいったんは上回ったものの、令和4年3月の使用割合は79.7%にとどまっている。

**菊地委員** 今年の4月から取り扱いは始まったリフィル処方箋の影響はあるのか。

**事務局** リフィル処方箋の影響については、今後調査分析したい。

### 健診の推進①

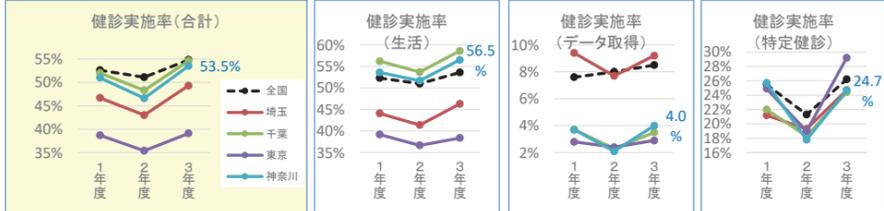
#### 【令和3年度の目標と実績】

・令和3年度の健診実施率は、目標(KPI)59.0%に対して実績53.5%(全国順位40位)。内訳をみると、生活習慣病予防健診、事業者健診データ取得の実施率は伸びているが、被扶養者の特定健診の実施率は回復が鈍い。

【データ】神奈川支部の健診の実施状況(マル数字(青)は47支部中の順位)

年度	被保険者		事業者健診データ取得		被扶養者		特定健診		合計	
	人数	実施率	人数	実施率	人数	実施率	人数	実施率	人数	実施率
1年度実績	372,483	③53.9%	25,232	④3.7%	45,854	②25.7%	443,569	④51.0%		
2年度実績	365,379	⑥51.7%	15,159	⑦2.1%	31,737	④17.8%	412,255	④46.6%		
3年度実績	406,004	①56.5%	28,758	④4.0%	43,165	①24.7%	477,927	④53.5%		
4年6月末 (前年同月比)	46,301 (+3,484)	6.2% (+0.2%)	12,631 (+8,610)	1.7% (+1.1%)	5,067 (▲1,307)	2.8% (▲0.8%)	63,999 (+10,787)	6.9% (+0.9%)		

【グラフ】健診実施率(全国および首都圏他支部との比較)



### 保健指導の推進①

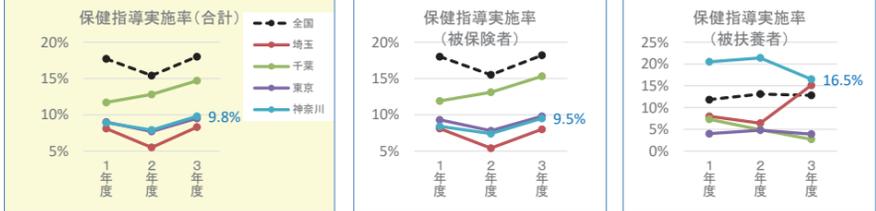
#### 【令和3年度の目標と実績】

・令和3年度の保健指導実施率は、目標(KPI)18.5%に対して実績9.8%(全国順位45位)。内訳をみると、被保険者の実施率は伸びているが、全国順位は低迷。一方、被扶養者の実施率の全国順位は相対的に高いが、実施率自体は前年度比大幅ダウン。

【データ】神奈川支部の保健指導の実施状況(マル数字(青)は47支部中の順位)

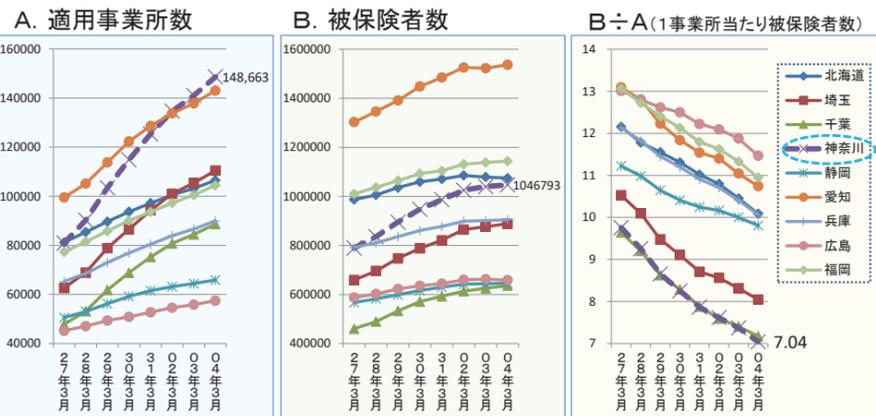
年度	被保険者		被扶養者		合計		外部委託機関		
	実施人数	実施率	実施人数	実施率	実施人数	実施率	契約 機数	健診当日実施 一括	分割
1年度実績	7,104	④6.4%	739	⑤20.5%	7,843	④6.9%	42	29	21
2年度実績	6,231	④6.7.4%	600	⑩21.4%	6,831	④5.7.9%	50	35	25
3年度実績	8,444	④6.9.5%	569	⑮16.5%	9,013	④5.9.8%	50	35	25
4年6月末 (前年同月比)	2,156 (+313)	17.0% (+8.6%)	80 (+8)	-	2,236 (+321)	-	53 (+3)	-	-

【グラフ】保健指導実施率(全国および首都圏他支部との比較)



### 【参考2】適用事業所数・被保険者数の推移

・神奈川支部ほか8支部の適用事業所数、被保険者数の推移は以下のとおり。  
・神奈川支部の1事業所当たりの被保険者数は47支部中最小の7.04。事業所を対象とした保健事業の効率は低い。



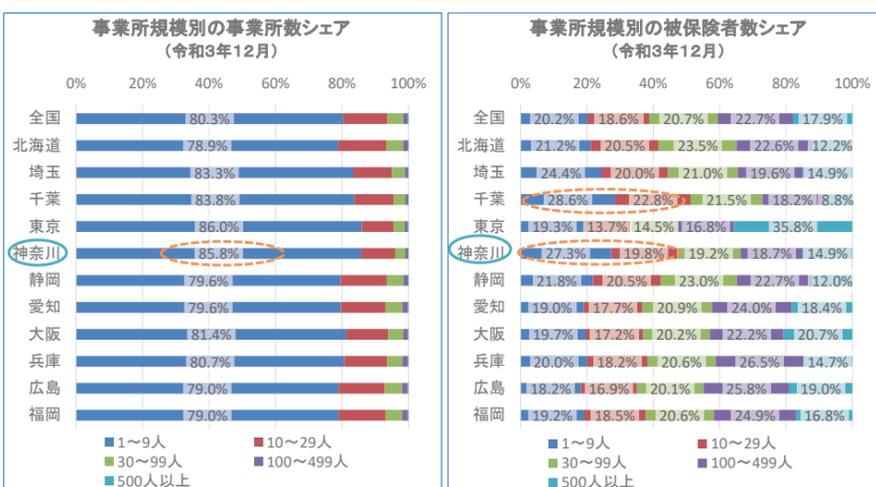
**A. 適用事業所数** 適用事業所数は148千で、47支部中3番目。首都圏の支部の伸び率は高い。

**B. 被保険者数** 被保険者数は1,046千人で、47支部中6番目。2年度以降の伸びは鈍化。

**B÷A(1事業所当たり被保険者数)** 1事業所当たり被保険者数は、小規模事業所の適用増加で急低下。7.04人は47支部中最小。

### 【参考3】適用事業所数・被保険者数の推移

・全国では被保険者10人未満の事業所は80.3%だが、東京・神奈川では86%台。  
・千葉・神奈川は、小規模事業所(被保険者30人未満)の被保険者のシェアが高く、事業所を対象とした保健事業の効率は低い。



(出所)「各支部の健康保険委員職事業所におけるカバー率の状況」(業務部)

協会けんぽ神奈川支部健康づくり推進協議会資料より

## 年金アカデミー

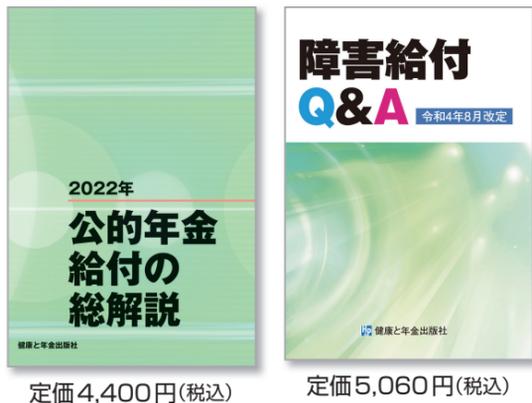
# 2年8か月ぶりに開校

**日本年金機構**

当社「年金専門書」を  
全国の年金事務所などに配布

日本年金機構では、当社刊行の「公的年金給付の総解説」及び「障害給付Q&A」の2冊を全国の年金事務所、街角の年金相談センターに配布いたしました。

当社の専門書籍は平成22年より日本年金機構が購入・配布をしており、年金事務所や街角センターでは、年金相談業務の参考書として長年、活用されています。とくに「公的年金給付の総解説」は、全国社会保険労務士会連合会の大槻名誉会長よりご推薦を頂いており、年金業務に携わる方々の実務書として、各方面から高い評価を得ております。



定価4,400円(税込)

定価5,060円(税込)

# 2022年度版 社会保険ブック

2022年版 社会保険ブック

健康保険や年金、雇用保険など、社会保険全般の概要を、最新情報を盛り込みつつ網羅した解説書です。各制度の要旨、給付内容などをわかりやすく解説するとともに、巻末には全国の年金事務所等の所在地を収録。日々の業務や知識の確認にも便利な、ポケットサイズの1冊です。

価格 1,100円(税込)

新書判/394頁

ISBN978-4-901354-89-9

発行：2022年5月

